

小名濱 江名 貴間等石城各藩
地方は昨今毎日の如く濃霧に襲
はれ過般も右卷三浦一郎所有三
十九噸の鰯船が江名海岸暗礁に
救助作業を終々小名濱築港へ引
き入れた等の被害があつたが二
十九日午後には小名濱大敷網の
網上げに向つた船が濃霧のため
方向を失ひ行處不明になつたと
いふので同町漁業組合では捜索
船を立てゝ捜索中夜になつて
該船は植田町在剣濱海岸に辿り
ついたといふ報に接したといふ

駆きおり又等間済でも二十九日
大敷網の船が方向を誤つて二三
里沖の方を間誤つてゐたなど
濃霧による被害は漸々と起つて
ゐるが最近の濃霧は同じ船の中
でも二三船離れては見えない程
のもので漁夫連ぢ今までに珍
いしく驚いてゐる。

漁農村の活況で 商店氣色ばむ

魚
威勢の石城七瀬
町の商店も、野のた百姓も、
山の石炭屋さんも、深刻な不
景氣に青息吐息である折柄石
城七瀬、小名濱、江名濱、豊
間、中の作、久の濱などでは、
近年になく大漁で海岸に鯛の
山、鰹の山、さては季節外れの
鮪の山とまで築く景氣のよさ
豈間の大漁網には一尾二三貫
もある大きな金鱗跳る鯛、さ
ては銀鱗（らめくブリ）や鮪な
ど毎日水詰めにして京濱の魚
河岸へ送る檣の製
はぬ程だといふか
曳けや曳け／＼
や黄金のきらら
船により浴ふ鰹
すに角で釣る
大漁節の威勢さよ
なごは豊間と小名
競争的に鯛の大漁
十割以上の相場で
空前の暴落、夫一網に、豊間一萬五

大漁の電報一つ打てば忽ち東京魚河岸の値段を狂はし三百萬市民のた臺所を賑すのだから豪氣なもの。
一方海上遙に百カイリ以上往復だけでも五十時間要する海洋に板一枚と地獄として働く鯨船も今年は天候が順調で漁が多い、鯨漁初まつたばかりで一万圓以上漁獲した船も數隻ありただ好況時代から見るさ何うも魚の相場が安いもつと値がよく賣れなくちア面白くない、賛深をいつてゐる、光は東方より、景氣は東千圓、小名の濱より回復するらしい。

近 年 稀 な 濃
續 発 す る
船 の 中

平町では一
今日は船
別宮警察部長は鏡淵警務課長を
隨行員として二十九日午後四倉
町に來り四倉署を視察の上海氣
館に投宿、三十日午前九時磐城
セメント四倉工場に至り更に自
動車で大浦村に至り新舞子の絶
景を探勝、そのまま正午平町に
至つて平署を視察し内郷村磐城
炭礦の労働状況を視察し湯本町
松柏館に投宿する豫定で、一日
には植田警察署から小名濱町に

至り新米に投宿、二日更に平町に乗り住吉屋本店に一泊するので同日平町では官民同合の歓迎會を開く筈である。

▲財務主任會議 平稅務署管内各町村財務主任會議は二十八日午前十時から開會土地賃貸價格調査委員選舉の打合せをなし午後二時から末廣で懇親の宴を張つた。

れど莫大の損害を被るが如き奇異なる結果を招ぐ場合が多く、識者も亦多大の注意を以てその成りゆきを刮目しつゝある旨、産報の如くであるが右に關する中央最近の情報を聞くに、

工業クラブ労働保険調査委員會は廿八日開催來月下旬其筋へ差出すべき健康保険の修正意見につき審議を重ね來月早々更には一回の會合を催し、最後の意見を纏める事になつたが全廢論が漸次優勢となり、あつて王子製紙の藤原氏が主張の根據たる一本年一日該法實施以來業務上並に縣外の傷病休業者の率が實施前より比べて非常に増加したがため労働能率が非常に減少しつゝある、尤も日尙淺く之を以て

地方の基礎には此際せりてもの
ならう事ならその全廢を祈願し
てる様である。

餌付不良な
鰯上
(イ) 大群
磐城丸の報告

縣水產試驗場磐城丸は二十六日
午後二時漁場調査のため小名濱
港を發し進路を南にとつて航行
中五時頃五十浬の沖合でトロミ
鰯の大群に遭遇したが餌付き不
良で中鰯二呑尾を得たに過ぎな
つた、更に同日午後一時半小
名濱南六十浬水温二十度の海區
で鳥付きの大群に遭つたが之亦
餌付思はしからず中鰯六百尾を
得た、要するにこの海區は水色
不良、潮流四分の一の間にあり
鰯漁には適してゐない旨を發表

年盛夏中に種々なる方策を廻らして浴客の吸收に腐心し兩濱とも連日土地の消防組員が交互に活動し浴場の警戒に従事する等兩濱に於ける浴客の争奪に就ては夫々人知れぬ苦心を續けて來たが、小名濱は遠淺にして水清く天興の海水浴場として絶好の地形を有しながら交通の便宜上四倉町に比し遙色あり一方四倉町は常磐線四倉駅の所在地なる駆より浴場迄の距離比較的遠きに加へ浴場の地勢はるかに小名濱に及ばず彼比一長一短遽に優劣を稱し得ざる状態に在つた處が昨年來湯本、小名濱間を通る磐城炭礦のガソリン軌道車が往々從來の四倉駅を侵し綴附平磐から橋矢田部長

町内全体にをなしたと云ふが一方小名濱には同様街燈を同様消防組は中心として公園に無數頭以下しきりに考慮中であると
（一）の職工　刀で割腹

（二）住日立第二た。

（三）弱が昂進し

（四）三八）は三

（五）状態であつ

（六）弱が昂進し

（七）一時頃自宅

（八）脣の下を横

（九）し苦悶して

（十）たが・附近

（十一）しやうがな

（十二）ので三十日

（十三）▲平町家賃三割値下げ

（十四）▲入山炭礦爭議

（十五）▲平町會解散

（十六）▲大瀧發電所問題

（十七）勞動農民黨平支部主催時事問題演説會は一日午後五時から平劇場に開き野胡律太、南場英夫兩氏が左の件について演説をなす

三夕
十
日刊
東城時報

傷病その他の手當に就ても相當の成績をあげて居るのに何を苦しんでか政府儲主及び労働者の負擔を増すが如き制度を必要とするや

四倉と小名濱
早くも沿客争奪
四倉では公園に廣告
小名濱でも吸收

燈備 準備

比察差
趣を添へることに決定し四倉電
氣の新妻社長は之れがため過般
仙臺方面に出張し詳細遊覽地に
適する街燈様式の視察を爲した
る外消防組に於ても既に少から
ざる費用を投じ四河その他の休憩

